

大宮中学校国語科 《第1学年》年間指導計画

国語科 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

国語科 第1学年の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

第1学年年間指導計画（評価規準）

★ 知は、知識・技能 関は、思考力、判断力、表現力 態は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名と配当 時数	指導目標	指導内容	評価規準	
4	ガイダンス (3～4時間)	国語科学習について 意欲を高める	授業びらき ・図書館オリエンテーション ・国語科ガイダンス	態	・国語の授業や読書活動の見通しをもとうとしている。
				知	速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫しながら音読している。
				関	詩に登場する国や街がどんなところか、また、そこで、どんな人が何をしているのか、情景を想像している。
	言葉に出会う ために (3～4時間)	・詩の情景を想像しながら音読できる。	朝のリレー	態	音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
				知	速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。情景や心情を表す表現に応じて、音読の仕方を工夫している。
				関	詩の作者である生き物になったつもりで、情景や心情を想像しながら音読している。
		・詩の情景を想像しながら音読できる。	野原はうたう	態	音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
				知	速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。情景や心情を表す表現に応じて、音読の仕方を工夫している。
				関	詩の作者である生き物になったつもりで、情景や心情を想像しながら音読している。
		・音声についての理解を深める。	声を届ける 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう	態	聞き手を意識して速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。線や矢印で情報を整理している。
				知	速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。線や矢印で情報を整理している。
				関	音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして声を届けようとしている。
5	学びをひらく (9～13時間)	・描写に注目しながら小説を読み深めることができる。	はじまりの風	知	登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。
				関	場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。
				態	場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。
		・情報を的確に聞き取ることができる。	情報を的確に聞き取る	知	登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。
				関	日常の話題について、情報を整理し、聞き取る内容を考えている。情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモしている。
				態	進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。
			情報整理のレッスン 比較・分類	知	情報の整理のしかたを理解し、情報を比較したり、分類したりしている。

		<ul style="list-style-type: none"> ・情報を整理することができる。 	情報を整理して書く わかりやすく説明する	態	学習課題に沿って、積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使おうとしている。
				知	集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。
				思	目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明の文章の構成を考えている。
				態	集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。
		<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の理解を深めることができる。 	漢字1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1	知	漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。
				態	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
				知	本文中で比較がどのように使われているかを理解している。
				思	「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。
6	新しい視点で (13~16時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・説明的文章について理解を深めることができる。 	ダイコンは大きな根？	知	本文中で比較がどのように使われているかを理解している。
				思	「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。
				態	文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。
				態	筆者の主張と事例との関係を理解している。
		<ul style="list-style-type: none"> ・説明的文章について理解を深めることができる。 	ちょっと立ち止まって	知	序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。
				思	
				態	・進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
		<ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠について理解を深めることができる。 	思考のレッスン1 意見と根拠	知	説得力のある根拠や、意見と根拠の結び付きについて理解している。
				態	・学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。
		<ul style="list-style-type: none"> ・効果的なスピーチについて理解を深めることができる。 	話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する	知	声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。
				思	・聞き手を意識して話題を決め、話の内容を選んで整理している。
				態	・聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。
				態	・話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。
		<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の理解を深めることができる。 	漢字に親しもう2	知	小学校で学習した漢字の熟語を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。
				態	・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		<ul style="list-style-type: none"> ・文法への理解を深めることができる。 	文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう	知	文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。
				態	単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。
		<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な情報の活用について理解を深めることができる。 	情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう	知	グラフや文章の中の情報を関連づけて情報を整理し、引用のしかたや出典の示し方を理解している。
				思	・調べたいテーマについて本やインターネットを活用して情報を集め、整理し、伝えたいことを明らかにして書いている。
				態	・必要な情報に着目して要約し、内容を理解している。
				態	引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。
7	言葉に立ち止まる (6~8時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・詩への理解を深めることができる。 	詩の世界 [書く] 詩を作ろう	知	詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。
				思	表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。
				態	詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考えている。
				態	自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を工夫して詩を書いている。
		<ul style="list-style-type: none"> ・比喩への理解を深めることができる。 	比喩で広がる言葉の世界	態	文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。
				知	文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。
				思	各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。
				態	進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。

		・言葉への理解を深めることができる。	言葉を集めよう もっと「伝わる」表現を目ざして	知	言葉を集め、似た意味の言葉や修飾する言葉を考え、伝えたいことに合う的確な言葉を探している。
				態	今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。
		・読書への理解を深めることができる。	読書を楽しむ	知	さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書が知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。
				態	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。
			本の中の中学生 読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム 本との出会い	態	文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
1 学 期	書写 読みやすく書くための楷書 (7～10時間)	・楷書について理解を深める。	[やってみよう] 漢字を分解してみよう	知	点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書いている。
				態	進んで穂先の向きや筆圧などを確かめ、学習課題に沿って点画を書こうとしている。
			漢字の筆使い	知	点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して書いている。
				態	進んで漢字の筆使いに注意し、学習課題に沿って②「天地」「春風」を書こうとしている。
			楷書に調和する仮名 (いろは歌)	知	楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書いている。
				態	積極的に楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、学習課題に沿って「いろは歌」を書こうとしている。
			[コラム]文字の歴史を探る	知	漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解している。
				態	進んで用紙に合った文字の大きさ、配列などについて考え、学習課題に沿って小筆で俳句を書こうとしている。
			[学校生活]目標を書こう	知	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。
				態	目標を書く活動の中で、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。
9	心の動き(14～18時間)	・小説を描写を意識して読み深めることができる。	大人になれなかった弟たちに……	知	戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解している。
				態	描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている。
				態	登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。
			星の花が降るころに	知	様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをとえているのか考えている。
				態	場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。
				態	進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。
		・スピーチについて理解を深めることができる。	聞き上手になろう 質問で話を引き出す	知	話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。
				態	話し手のスピーチに耳を傾け、聞いたことを基に、質問のしかたを工夫して聞き、対話をしながら話を十分に理解しようとしている。
				態	進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。
		・文章について理解を深めることができる。	項目を立てて書こう 案内文を書く	知	情報を項目ごとに整理することを理解し、案内文の作成に生かしている。
				態	伝えたい事柄・相手に応じて、必要な情報が明確に伝わるように、項目ごとに整理して案内文を書いている。
				態	集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書こうとしている。
			[推敲]読み手の立場に立つ	知	正確でわかりやすい表現に書き改めている。
				態	読み手の立場に立って、誤記はないか、表現は適切か、伝える情報が正確にわかりやすく書けているかなどを検討している。
				態	粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとする。

		・言葉について理解を深めることができる。	言葉2 方言と共通語	知	している。
				愚	共通語と方言の役割や特徴について理解している。
		・漢字について理解を深めることができる。	漢字2 漢字の音訓	知	今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
				愚	漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。
10	筋道を立てて（15～17時間）	・説明的文章について理解を深めることができる。	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	知	筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて、理解している。
				愚	筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。
				愚	文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
		・原因と結果について理解を深めることができる。	思考のレッスン2 原因と結果	知	原因と結果がどうつながっているか整理し、二つの関係について理解している。
				愚	今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。
		・レポートの効果的な書き方について理解を深めることができる。	根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く	知	情報を整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、出典の示し方に気をつけながら引用している。
				愚	自分の考えに説得力をもたせるようなレポートの構成を考えている。
				愚	文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。
		・漢字への理解を深めることができる。	漢字に親しもう3	知	小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。
				愚	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		・効果的な話し合いについて理解を深めることができる。	〔話し合い〕 話し合いの展開を捉える	知	「上達のポイント」を理解している。
				愚	話題や展開を捉えながら話し合うために気をつけることを理解し、課題に沿って発言内容を考えている。
				愚	進んで話題の展開を捉え、学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。
		11	いにしへの心にふれる（6～8時間）	・詩の描写に注意しながら理解を深めることができる。	音読を楽しもう 大阿蘇
愚	話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。				
愚	積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。				
知	詩の言葉がどのように使われているか考えて、朗読をしている。				
愚	繰り返しの表現や繰り返しながら変化している表現などに着目しながら考えている。				
愚	進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。				
・古典について理解を深めることができる。	音読を楽しもう いろは歌 古典の世界			知	・言葉の調子や間の取り方などを意識して音読している。
				愚	・小学校から親しんできた古典の作品を思い起こし、古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。
				愚	古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。
	蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」から			知	音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。
				愚	「蓬萊の玉の枝」に登場する人々の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。
				愚	進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。
	今に生きる言葉 〔書く〕故事成語を使って 体験文を書こう	知	音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。		
		愚	・「矛盾」や、「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の基になった故事を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。		
		愚	・「矛盾」と自分の体験とを重ねて、書く内容の中心が明確になるように文章の展開や構成を考えている。		
		愚	積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。		
12	価値を見いだす	・効果的な文章の	「不便」の価値を見つめ直す	知	意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。要約するための情報の整理のしかたを理解し、自分の考えをまとめる

	(8～10時間)	書き方について理解を深めることができる。	〔書く〕根拠を明確にして、意見をまとめよう		きに要約や引用を明確に示している。
				思	・目的に沿って必要な情報を結び付け、要約している。 ・賛成か反対か、立場を明確にして、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。 ・立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見をまとめて書いている。
				態	積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。
			助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く	知	書評を書き、助言し合う活動を通して、読書の意義を理解している。
				思	読み手からの助言を踏まえて、自分の書いた書評のよい点や改善点を見つけている。
				態	読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を進んで見だし、学習課題に沿って書評を書き、助言し合おうとしている。
	漢字について理解を深めることができる。	漢字に親しもう4		知	小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。
				態	学習課題に沿って積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
				知	「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について、理解を深めている
				態	単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。
	百人一首 (4時間)	・百人一首に親しむことができる。	百人一首	知	これまでの古典学習を活かし、百人一首に取り組んでいる。
				態	日本の古典である和歌に親しもうとしている。
	読書に親しむ (1時間)	・読書に親しむことができる。	考える人になろう 読書案内 本の世界を広げよう	態	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、考えたことを伝え合おうとしている。
2学期	読みやすく速く書くための行書 (書写) (15～18時間)	・行書について理解を深めることができる。	[やってみよう] 速さを比べてみよう	知	・漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解している。
				態	・積極的に速く書いたときの文字の特徴を捉え、学習の見通しをもって行書を学ぶ意義について話し合おうとしている。
			行書の特徴	知	・漢字の行書の特徴を理解している。
				態	・積極的に楷書と行書の違いを考え、学習課題に沿って行書の特徴を話し合おうとしている。
			丸み・点画の連続	知	・漢字の行書の基礎的な書き方(丸み・点画の連続)を理解して、身近な文字を書いている。
				態	・進んで行書の書き方(丸み・点画の連続)を理解し、学習課題に沿って「一」「二」「口」を書こうとしている。
			点画の変化	知	・漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書いている。
				態	・進んで行書の書き方(点画の変化)を理解し、学習課題に沿って「大木」「北西」「月光」を書こうとしている。
			書き初め	知	・これまでに学習した楷書・行書の特徴を理解して、課題の文字を書いている。
				態	・進んで楷書・行書の特徴を理解し、学習課題に沿って書き初め作品を書こうとしている。
1	自分を見つめる (18～21時間)	・小説の描写に注意しながら読み深めることができる。	少年の日の思い出 〔書く〕別の人物の視点から文章を書き換えよう	知	場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。
				思	・時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。 ・登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。 ・別の人物を選び、その人物の心情や行動が明確になるように構成や展開を工夫して書いている。
				態	文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。
				知	小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。
		・漢字への理解を深めることができる。	漢字に親しもう5	態	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている
				知	「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。
		・文法への理解を深めることができる。	文法への扉3 単語の性質を見つけよう	知	「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。
				態	今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。

		・随筆の描写に注目して読み深めることができる、	随筆二編	知	「空の描写」や「父親とのやりとり」がどのように表現されているかを理解している。
				思	場面の展開や描写に着目しながら、筆者の「空」についての思いや「父親」への思いを捉えている。
				意	進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
2		・文章の書き方について理解を深めることができる。	構成や描写を工夫して書く 体験を基に随筆を書く	知	体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。
				思	読み手に状況がイメージできるように、書く内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。
				意	書きだしや結び、出来事を、言葉を吟味し、描写を工夫して書いている。
		・漢字について理解を	漢字3 漢字の成り立ち 漢字に親しもう6	知	漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を使って調べている。
				意	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		・1年間の国語で身につけたことを振り返り、復習することができる。	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する	知	・声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながら発表をしている。
				思	・情報の整理のしかたを理解し、要点をわかりやすくフリップにまとめている。
				意	・聞き手や場に応じて発表の言葉や表現を変えるなどの工夫をしている。
				意	・「観点」に見合った情報を集め整理し、内容が伝わる端的な言葉をフリップに書いている。
3		・詩の描写に注目して読み深めることができる。	さくらの はなびら	知	詩に用いられている表現の技法を理解し使っている。
				思	詩の解釈を通して理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。
				意	文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、考えたことを伝え合おうとしている。
	振り返り（2～3時間）	・これまでの学習を振り返り、学習課題に取り組むことができる。	学習を振り返ろう	知	・曲名と歌の一節を引用する方法を理解している。
				意	・課題にある方言の例を読み、共通語と方言の果たす役割について理解している。
				意	今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている
3学期	振り返り（書写）	・これまでの学習を振り返り、学習課題に取り組むことができる。	国語のしおり	知	・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。
				思	・季節の言葉をなぞる活動の中で、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。
				意	・積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。

評価基準・・知：定期考査、漢字テスト、作品、ワークシート等

思：定期考査、発表、聞き取りテスト、作品、作文、小テスト等

意：授業中の取り組み、定期考査、ノート、ワーク、提出物等